

心の



はなれて

手をつなごう

過ごそう



令和2年6月発行
No.204

ソーシャルディスタンス（2mくらい離れようね！）

発行 南アルプス市社会福祉協議会
住所 〒400-0332 南アルプス市鏡中條1642-2 電話 055-283-8711 FAX 055-283-4167
HPアドレス <http://www.minami-alpsshakyo.or.jp> E-mail info@minami-alpsshakyo.or.jp

※この広報誌の発行は、社協会費と赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

マスクキットの袋詰めにご協力いただいたボランティアさんの声をお届けします！

先月号で募集したマスクキットの袋詰めボランティアにたくさんのご協力をいただきありがとうございました。おかげ様で、市内小学校全児童分(約3,700セット)を教育委員会へお届けしました。



ボランティアのみなさんの声

▶ボランティアに元々興味があり、何か自分にできないことがないかと考えていました。人に喜んでもらえることがしたかったんです。

▶学校関係の仕事をしていましたが、休校と同時に私も仕事が休みになりました。こんな機会でないといけないことをしてみようかなと思い、今回応募しました。

▶私にもできそうだなと思い、応募をしました。私にも孫がいて、子どもたちのためにできることをしたいと思いました。また、子ども食堂でもボランティアをしていて、私にもできることには参加しています。

▶自分にできることなら今後もボランティア活動に参加したい。

ご協力いただいた皆さんを紹介します

内田美和子、小笠原里枝・彩人、金丸元子、金丸陽子、河野ゆり子、斉藤純枝、斉藤澄子、齊藤玲偉・南朋、桜田良子、笹本初美、澤登康子、塩沢弘子、清水加奈枝、高石勝子、高石知恵、内藤君枝、野中 都、樋川貞子、深沢昭子、松田あや、その他匿名で参加のみなさん(敬称略)
※社協理事もボランティアとして参加

「おやつサービス事業」を紹介します

この事業は社協会費で実施しています

市内にお住まいの独居・高齢者世帯の見守り活動を兼ねて、各地区のおやつボランティアの協力により季節を感じる手作りのおやつを月1回民生委員やボランティアが自宅にお届けしています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月からはおやつ調理は休止、紙パックの野菜ジュースに変更して継続しています。外出自粛が続いているこんな時期だからこそ、高齢者に寄り添った住民支援の一つとなっています。

おやつサービスの様子

～利用者さんより～

足が痛く外に出歩けず人との交流もないので月1度来てくれる民生委員さんがとてもありがたい。親切に話を聞いてくれてとても嬉しい。

それぞれの“おもいっ”



～おやつボランティアより～

再開したらボランティアみんなでおいしいおやつを作りますので楽しみに待っていてください。

～民生委員より～

生活環境が変わった今、親族の支援なども受けられなくなった人もいて多くの人が不安を感じている。みんなで気にかけることが大切。

※おやつサービスは一定の条件を満たす方が対象となります。詳しくはお近くの民生委員または地域福祉課 ☎283-4121へ問合せください。

令和2年度 ふくしポスター大募集!!

応募者全員に参加賞があります!

だれもが安心して暮らせる「あったか色のまちづくり」を目指し、未来を担う小中学生に福祉やボランティアに関心を持ってもらうことを目的にポスターを募集します。今年のテーマは「ふくし」です。新型コロナウイルスの感染が拡大し、みなさんの学校生活にも大きな変化が起きた今だからこそ「ふだんのくらしのしあわせ」について考え描いてみませんか。多くの応募をお待ちしています!

★テーマ：『ふだんのくらしのしあわせ』

★応募条件：小学1年生～中学3年生
1人1点まで(未発表の作品に限る)

★応募方法：8切り(270mm×380mm)の画用紙に、テーマに沿った絵を描き、裏面に応募用紙を貼り学校へ提出してください。市内小中学校を通し、画用紙と応募用紙をお配りします。お手元に届かない場合は下記までお問い合わせください。

★応募締切：9月7日(月)

★作品選考：最優秀1点 優秀3点 佳作6点 計10点
※作品の返却はいたしません。著作権は、社会福祉協議会に帰属させていただきます。

★問合せ：地域福祉課 ☎283-4121

テーマ「赤い羽根共同募金～自分の町を良くするふくし～」



昨年度最優秀作品
白根御勅使中学校
清水紀々香さん



～この事業は赤い羽根共同募金の配分金と社協会費で実施されています～

私たちの協議体 「浅原地区」編



浅原地区では、外出に不便を感じているという声が多く聞かれました。昨年4月に浅原支えあい隊として具体的な話し合いが始まりました。毎月1回の話し合いで準備を進め、7月から外出のお手伝いが始まっています。延べ60名以上の方に利用していただき、活動が少しずつ浅原地区に根付いてきています。また、協議体に参加しているデイサービスリハかのん若草は、買い物支援・地域交流を目的に移動販売を企画実施しており、支えあい隊も協力してきました。昨年移動販売が1周年を迎えた記念として特別イベントを開催し、当日は多くの参加者がイベントに訪れ大変賑わいました。昨年11月には協議体メンバーのスキルアップを目的に外出困難な方の事例をもとにふくし勉強会を開催し、向こう三軒両隣、お隣さんとのつながりの大切さを改めて確認しました。今後もみんなで話し合い、活動を続けていきます。

ちよぼら

落合地区の武内やす子さんをご紹介します。

武内さんは新聞紙で作ったバッグをサロンや公共施設などに配っています。また、近所の方とのちよっとしたお茶飲み会の際にも配り、地域とのつながりも大事にしているそうです。素材は新聞紙ですが、記事や広告の図柄がデザインを考えて配置され、とてもオシャレに作られていて大好評です。十年以上前に娘さんに作り方の本をプレゼントしてもらったことがきっかけで作り始め、その後は自分なりにアレンジも加え、今まで施設などで利用者さんに作り方を教えたり一緒に作ったりする活動もしてきました。「もらってくれる人が喜んでくれると張り合いになる。自分のためにもやっているさ。」と元気に話をしてくれました。



認知症カフェ やまびこの会より 「オレンジカフェやまびこ」

皆さま、早くみんなで笑っておしゃべりしたいですね。
 今月はオレンジカフェのことをもっとお知らせします。

そもそも、やまびこの会は何をしている会なの？

認知症になってもだいじょうぶ！認知症の人や家族も地域の人もみんながそう思える日が来ることを願って活動している会です。

オレンジカフェやまびこって？

カフェ開催もその活動の一つです。認知症の人や介護家族の人たちの、居場所や息抜きの場になれば嬉しいです。認知症の予防や理解にもつながるような皆さんの交流の場にしたいです。

誰でも参加できるの？

はい！どなたでもお気軽においでください。認知症の人や家族はもちろん、地域の人と一緒に交流しています。

認知症の心配ごと、困りごとなどの相談もできるの？

はい。市の認知症地域支援推進員や認知症ケア上級専門士、介護経験者がお待ちしています。専門的なことから、ちょっとした困りごとまで何でもどうぞ。たまった心の不安やモヤモヤを吐き出してしましましょう。参加される人たちが少しでも楽になれるように寄り添いたいと思っています。

- 開催日…毎月第3水曜日 13:30～15:30
- 参加費…200円
- 場 所…白根げんき館（在家塚1156-1）

☆残念ですが、新型コロナの影響により6月カフェの開催は未定です。

☆相談や問い合わせはいつでもどうぞ、お待ちしております。
 やまびこの会まで ☎090-1114-2870（猪狩(いがり)）

成年後見制度をご存じですか？

認知症などの病気や、知的、精神の障がいによって自分ひとりでは判断ができず、手続きや契約、金銭や財産の管理が難しい人の利益や権利を護るため、家庭裁判所からサポートする人を選任してもらう制度のことです。また、加齢などにより判断能力が衰える前に信頼がおける人に今から将来のことをお願いしておく任意後見という制度もあります。成年後見センターでは、成年後見制度の利用だけでなく、ほかの方法でサポートができないか、将来に対する備えはどんな方法があるかなど専門機関と連携しながら一緒に考えます。

◇成年後見制度相談会（予約優先）

- ・開催日：毎月20日に実施しています（休日の場合は前の開所日）
- ・場 所：社協本所（鏡中條1642-2）

今月は**6月19日(金)**
13:30～15:30
 に開催します



◆随時ご相談を受付けておりますので
 お気軽にご連絡ください。

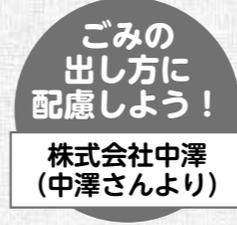
▶問合せ：成年後見センター ☎283-8722

みんな時だからこそ・・・「“家庭でできる”ちょっとしたボランティア」

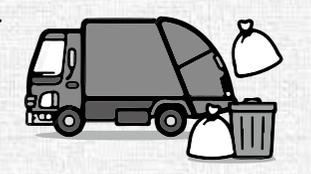
新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、家で過ごす時間が多くなっています。家にも「あまりやることないな」「暇だな」「何して過ごそう」と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。そんなあなたに、「家庭でもできる”ちょっとしたボランティア”」を紹介します。ぜひ、この機会にボランティアをしてみませんか。



あなたのご近所には、高齢者世帯、一人暮らし、子育て中などのご家庭はありませんか。いつもより少し、ご近所を気にかけてみてください。



株式会社中澤（中澤さんより）
 ごみ収集時にプレスしたごみ袋が破裂し、新型コロナウイルスが空気中に飛散すると、作業員が感染する恐れがあります。作業員が安全にごみの適正処理を行い、継続的に事業を行えるように、ご協力をお願いいたします。



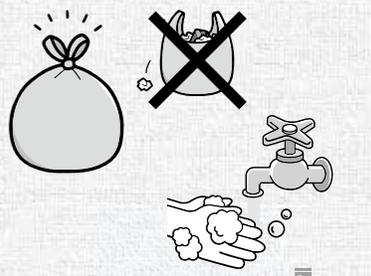
近所の異変に気付く見守りのポイント

- 郵便ポスト・新聞受け → 何日も溜まっている
 - カーテンや雨戸 → 何日も閉じたままもしくは開いたまま
 - 部屋の電気 → 深夜もついているもしくは何日もついていない
- ★あれっ？と思ったらふくし相談支援センター（☎284-7830）までご連絡ください。



ごみを出す際の新型コロナウイルス感染予防ポイント

- 袋いっぱいには、ごみを入れない。
- ごみ袋はしっかりしばって封をする。
- 袋に空気を入れない。
- 使用後のマスクやティッシュ等は、ビニール袋に入れて2重3重にする。
- ごみを捨てた後は手を洗う。



新型コロナウイルスに便乗した「不審電話や訪問」に注意!!

新型コロナウイルスに便乗した不審な電話、訪問などが確認されています。このようなことがあったらすぐに警察へ通報をお願いします。

例えは：
 『水道管にコロナウイルスがついている』
 『給付金を受け取るために今すぐ口座の登録が必要』

不審な電話や訪問はすぐ110番!!

電話でお金の話は詐欺!!
 ※不審なメールにも注意を!

コロナウイルスの消毒業者を語った不審な訪問も!!

感染防止に行政から委託を受けて消毒しています

南アルプス警察署

ボランティア団体、サロン団体の応援をしています!

社協では、ボランティア団体、サロン団体の活動をバックアップするため助成金の交付を行っております。

| 令和2年度 助成金交付状況報告 | |
|--|---|
| ボランティア団体 | サロン団体 |
| 交付団体数 41団体 総助成金額 820,000円 | 交付団体数 60団体 総助成金額 2,254,830円 |
| ※一律 20,000円 (初年度は10,000円) | サロン 高 齢 29団体 障がい 2団体 団体内容 子育て 4団体 全 般 25団体 |
| ※活動回数等で助成額が異なります | |

※この事業には、赤い羽根共同募金の配分金及び社協会費が使われています。

■ボランティアやサロンのご相談は、お気軽に社会福祉協議会まで問合せ下さい。
 *問合せ：地域福祉課 ☎283-4121

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域交流拠点事業を自粛しています。そのため「しゃきよんの家下町だより」はしばらくの間休止させていただきます。※デイサービス事業は通常通り実施しています。

◎それぞれお問合せの際には電話番号をご確認の上、お間違いのないようにお願いします。